



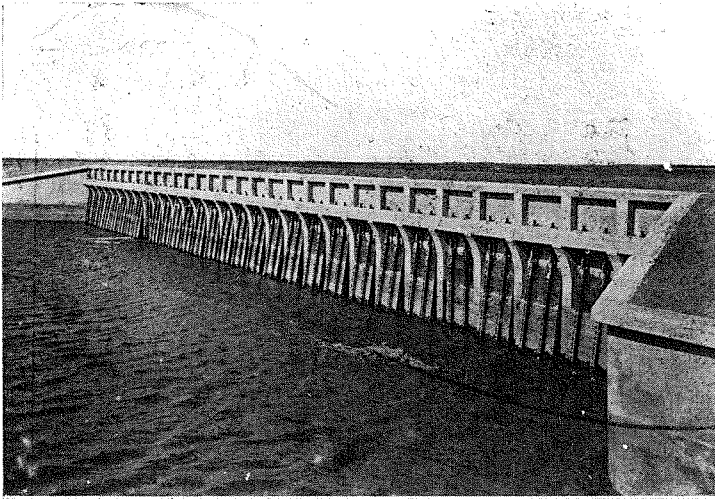
## 公共埤圳嘉南大圳組合の

## 大 灌 溉 工 事

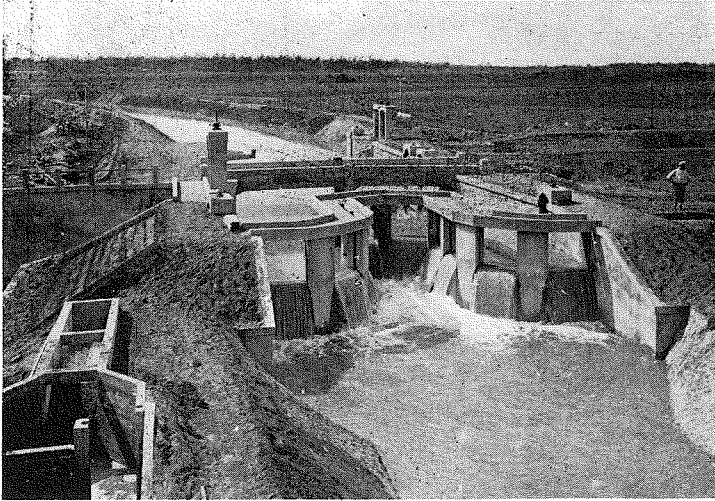
大正九年起工以來 4,500 萬の工費を以て幾多の困難と闘ひ乍ら常に最善の技術を以て工を進めてゐた嘉南大圳組合の大灌漑工事は 遂に昨年竣功を告げその大業を完ふした。本工事に關しては工事畫報第一報四號に工事中の概況を、昨年八月號及十一月號に竣功後の狀況をそれぞれ寫眞に依つて報導したが、茲に未載の寫眞を掲げ以て同工事の全容を傳へ新春特輯號を飾ることとした。前掲諸號を参照ありたし。(編者)



- 1 洪水時の排水を適當に調節することは、耕地の水利問題上大切な事である。本寫眞は在來排水路の河敷が狭い爲これが擴張工事中のものである。場所は排水路麻豆線、在來第七號並に第二號鐵橋下流右岸より上流を望む景である。先方に見ゆる木橋は道路橋、近い方は製糖會社の既設軌道橋である。左方土 捨場が新堤防となる  
労働者は臺灣土人で、裸體に日覆の笠を被る  
鋤取り運搬とも一人ですが、その工賃は立一坪當り約一圓である。



**2** 下崙潮止附屬自働排水門 外面延長134尺2寸、内法3尺深6尺、三十連より成り、鐵筋混凝土造自働式で排水量1000立方秒尺を有する。



**3** 給水路濁幹線北港支線水井分線の分水門と堰上門。



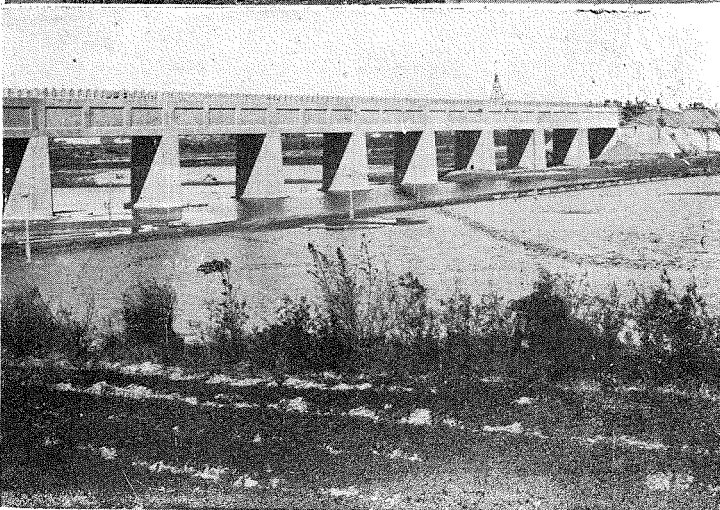
**4** 林内第二取入口 主として濁水溪本流を取入るため斗六郡斗六街林内濁水溪第三號護岸（林内第一取入口下流約750間）に設けたもので、構造は鐵筋混凝土造、捲揚式水門、入口上段内法3尺深3尺、中段内法3尺深4尺、下段内法3尺深3尺、上中下3段各段2連、吐口内法5尺深6尺5寸、一段6連よりなり最大取入可能量2,000立方秒尺である。上流に見えるのは臺灣縱貫鐵道濁水溪橋梁。

### 5 埤圳新設工事竣功經

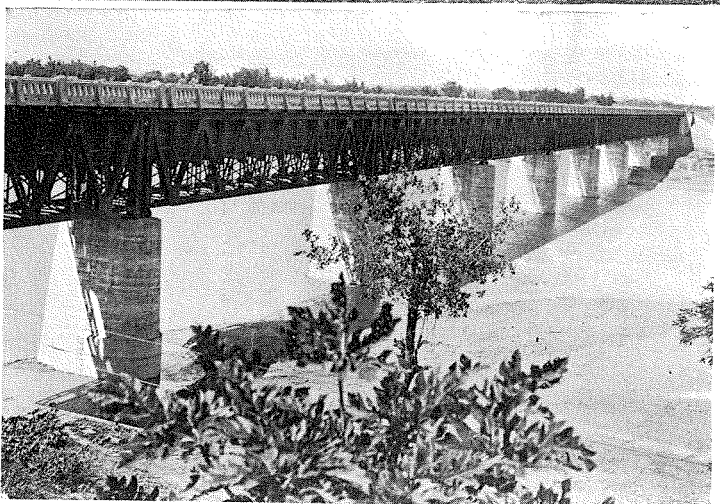
營開始部分の灌漑地狀態  
で、北港郡嶺頭厝區と水  
稻作。



6 嘉南大圳の耕地の廣  
さは南北約30里、東西約  
3里(約100平方里)と云ふ  
も廣ばくたる平野である  
から、此平野の中に縦横  
の水路が新設されるに就  
ては水路と道路橋とを兼  
用する様な一舉兩得の設  
計が出来てゐる。寫眞は  
北幹線八掌溪水橋で、橋  
上は臺灣の縦貫道路の幹  
線をなしてゐる。鐵筋混  
凝土造、橋長840尺、水  
樋は内徑12尺×10.6尺で  
流量は900個である。



7 曾文溪水橋 曾文溪官  
田庄三塊厝を新化郡善化庄東  
勢寮の堺に於て、給水路南幹  
線を連絡するため曾文溪上に  
架設したもので橋體構造はワ  
ーレントラス型、橋長1,119  
呎構桁心々幅13呎6吋構桁高  
17呎徑間長129呎9連、橋脚構  
造は立上り鐵筋混凝土造、基  
礎を鐵筋混凝土造楕圓形井筒  
として立上り高30尺8寸乃至  
32尺3寸 井筒長45尺乃至61尺  
10基。水路樋構造は鐵板製箱  
形とし、高3尺幅10尺勾配500  
分の1、最大流量25立方秒尺  
を有す。本橋上も臺灣縱貫道  
路で 路面幅21尺、兩側高欄  
高3尺5寸、道路敷及高欄は何  
れも鐵筋混凝土造である。



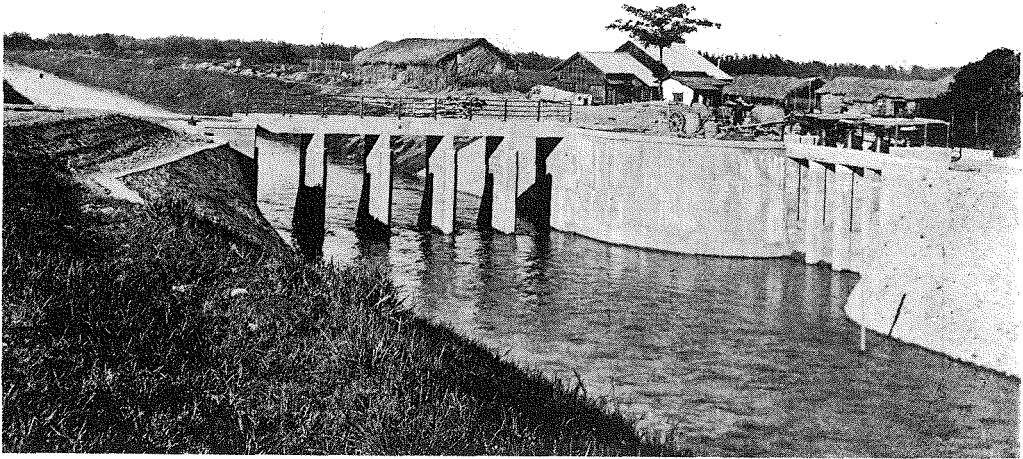




8 排水路麻豆線第七號橋附近より下流を望む景。自然状態の河を製糖會社が一度改修し更に大圳組合が詳細調査の結果擴張工事を施したもので遠景は工事中、近景は完成部分を示す、

9 潮止堤東石線 潮止堤は海拔5尺の地處に5尺高の土堤を築き耕地を海拔10尺まで保護するものである。天端5尺海側5割、内側2割法である。





10 濁幹道水路第十一號落水工

及小田支線取入水門。

11 排水路鹽水溪線 新化郡新市庄看西に  
起り看西線を合して新豐郡安順庄和順寮 同  
庄安順及大心寮を經媽祖官に至りて安順寮線  
と合し鹽水溪末流に注ぐ、延長 8,127 間 最  
大數幅72尺兩側法 2 割、勾配 15,000 分の 1、最  
大排水量 3,000 立方秒尺にして排水面積 19,8  
84 甲を有する。

